



TITLE:

雜報

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雜報. 經濟論叢 1938, 46(6): 961-964

ISSUE DATE:

1938-06-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/131102>

RIGHT:

# 京都市大學經濟學會 經濟論叢

第六號

第四十六卷

昭和十三年六月一日發行

## 論叢

箱館における缺乏品貿易……………

經濟學博士

本庄榮治郎

清算貿易制の理論……………

經濟學博士

谷口吉彦

共同體思想の生的基礎……………

經濟學博士

石川興二

## 時論

消費節約の問題……………

文學博士

高田保馬

## 研究

ホッブスの租稅論とその周圍……………

經濟學士

島恭彦

利子率を含む經濟擴張論……………

經濟學士

飯田藤次

エッジワースと誤差法則……………

經濟學士

馬場吉行

近世絞油業の發達……………

經濟學士

住谷勇二

## 說苑

損害率と保險料率との相關關係……………

經濟學士

佐波宣平

臨時稅法の整理……………

經濟學博士

汐見三郎

## 附錄

雜報・外國雜誌論題……………

本誌第四十六卷總目錄……………

（禁轉載）

# 雜報

## ○經濟學會五月例会

五月十二日(木)午後六時半より樂友會館に於て開催、左の報告があつた。

### 一、カルブンの利子論

——特に「利子に關する手紙」について——

澤崎堅造氏  
高田教授

先づ澤崎氏はカルブンの利子論に這入るに先立ち、第一にその有力な文獻たる「利子に關する手紙」について、從來疑問とされてゐる點を明らかにするためにその「手紙」の内容を概説せられ、更にそれと法學者ドウムラン(モリネウス)の利子論との關係に論及せられ、カルブンの爾余の手紙に基いて思想一般としてはやはりカルブンの方が指導的であること、たゞ法律上の引例についてはドウムランに依るところあることを推論せられた。第二に此の「手紙」の宛先について、從來多くエコラムパデウスだとしてゐるが、それは明かに誤りであり、なほ進んで候補者を擧げるならヴィレーである様に思はれると判斷せられ、また近來少數の學者によつてサツキヌスの名が擧げられてゐるが、それには幾多の疑問があることを指摘せられた。第三に此の「手紙」の年代については、若しサツキヌスとすれば一五四五

年となるが、併しヴィレーとすればカルブンの思想の變遷並に聖書講解から推して、寧ろ晩年の一五五八年頃となると幾多の證據を擧げて説明せられた。

次いで高田教授は最近の經濟理論特に所謂マルティプライアの理論を援用せられ今提唱されつゝある消費節約がもつ非常時對策としての意義を詳細周密に分析せられた。詳しくは本號所掲の論文を參照されし。

出席者——高田、汐見、谷口、八木、大塚、中川、中谷、佐波、白杉、島、松井、山岡、飯田の諸先生、青山、田杉、田口、岡倉、和田、熊本、北野、三谷、菊田、青盛、上村、佳谷、鈴木、山本、澤崎、前川の諸氏

## ○經濟學會會計報告 (自昭和十二年四月一日至同十三年三月三十一日)

### 一般會計

損益計算表			
科	目	入	金
雜	處分	一八、一五・九〇〇	
利	子	四六・七〇〇	
雜	收	五〇・〇〇〇	
計	入	一一四・八五・六〇〇	
科	目	出	金
雜	支	一六、九九・三〇〇	
印刷	原稿料等		

雜 報

通信費、振替料金	一、二六・三〇〇
手當及謝金、廣告料	三、一七〇・八〇〇
消耗品	二六・六〇〇
紀要費	七三三・四四〇
雜費	三八六・九六二
計	三、七二二・四九〇
當期損失	四、四五六・八〇〇
基本金會計ヨリ補助金	四、四五六・八〇〇
次年度繰越金	〇

基本金計算書 (自昭和十二年四月一日起至同十三年三月三十一日)

損益計算表	收入	金額
利子	三、七二二・四九〇	
雜收入	三・一七〇	
計	三、七六五・三〇〇	
支出	金額	
雜費	一〇・四九〇	
税金	二九七・六〇〇	
謝金	二、〇〇〇・〇〇〇	
一般會計へ補助	四、四五六・八〇〇	
計	六、七五四・九五〇	

第四十六卷 九六二 第六號 一四八

當 期 損 失

二、九九・六〇〇

○昭和十二年同好會會計報告

一、收入之部

總計 金壹千參百九拾七圓八拾壹錢也

內 譯

金參百八拾九圓七拾九錢也

金四拾參圓五拾貳錢也

金貳百參拾壹圓也

金七百貳圓也

金參拾壹圓五拾錢也

一、支出之部

總計 金壹千參百九拾七圓八拾壹錢也

內 譯

金參百貳拾五圓貳拾七錢也

金壹百九拾五圓四拾六錢也

金壹百參拾九圓拾錢也

金八拾七圓九拾七錢也

金六拾七圓九拾五錢也

金五拾四圓四拾錢也

金參拾貳圓參拾錢也

前年度繰越金  
預金  
利子  
本會入會金  
學生會費  
教官會費

學生大會費  
見學費  
新入會員歡迎會費  
神戶先生御還曆  
祝賀謝恩會費  
豫餞會費  
座談會費  
事業交涉及費

金參拾圓也  
 金貳拾八圓六拾錢也  
 金貳拾貳圓五拾九錢也  
 金拾五圓也  
 金參百九拾九圓拾七錢也

事務員慰勞費  
 委員會費  
 消耗品費  
 實行委員記念品費  
 次年度繰越金  
 以上

○昭和十三年度同好會豫算概表

一、收入之部

總計 金壹千參百四拾九圓拾七錢也  
 內 譯

金參百六拾七圓六拾七錢也  
 金貳百五拾圓也  
 金七百圓也  
 金參拾壹圓五拾錢也

一、支出之部

總計 金壹千參百四拾九圓拾七錢也  
 內 譯

金參百五拾圓也  
 金壹百七拾圓也  
 金壹百圓也  
 金壹百圓也  
 金壹百圓也  
 金貳百五拾圓也

前年度繰越金  
 新入會員入會金  
 學生會費  
 教官會費

本年度學生大會費  
 新入會員歡迎會費  
 作田先生御還曆  
 祝賀會費  
 座談會費  
 豫餞會費  
 見學費

金五拾圓也  
 金參拾圓也  
 金參拾圓也  
 金拾五圓也  
 金參拾圓也  
 金壹百貳拾四圓拾七錢也

交 涉 費  
 委員會費  
 消耗品費  
 實行委員記念品費  
 事務員慰勞費  
 豫備費  
 以上

會 員 動 靜

雜

報

第四十六卷

九六四

第六號

一五〇